

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」目標等の設定様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
06207上山市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	市内の小学校教員の1%超が、月60時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの多様な学校を除く市内小中学校7校に地域コーディネーター3名を配置してカバーする。全員を年間200日以上配置する。 ・地域コーディネーターは学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担軽減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの多様な学校を除く市内小中学校7校に地域コーディネーターを3名配置。全員を年間200日以上配置し、常駐化する。 ・常駐する地域コーディネーターは学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担軽減を図る。 	学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	月60時間以上の時間外勤務を行う小学校教員の割合	1	%	0	2	<p>02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫改善が求められる。</p> <p>設定した指標による目標の達成は叶わなかったが、令和6年度と比較し、60時間を超える教職員は増加したが、45時間を超える教職員は減少した。また、平均超過時間も令和6年度と比較し減少している。</p> <p>これまで教職員が担っていた地域連携に係る渉外業務等の校務分掌を、地域学校協働活動推進員が担うことで、負担軽減が効果的に働いている。地域と協働した児童生徒の学習活動の一層の推進が図られ、学校評価においても保護者から肯定的に受け止められている。</p>	https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/soshiki/25/houkagokodomokyousitu.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。